

最終評価シート

■新規: H27年度から新規協定を結んだ指定管理者
 ■継続: 前回指定期間から継続して管理している指定管理者

公園名	指定管理者	
相模原公園	(公財)神奈川県公園協会・ (株)サカタのタネ グループ (継続)	
最終評価	評価対象年度	指定期間
特に優良	平成29年度	3年目(5年間)

■項目別の評価結果

1. 適切な管理運営業務の執行 S ・植物管理では、樹林地管理計画の作成・運用を開始し、多様性のある樹林形成を目指した管理を行ったほか、花壇では植栽を追加して新たな見どころづくりに取り組み、芝生では場所に応じて管理目標を設定し、効率よく作業を行うなど、植物を中心とした公園の魅力形成を図る積極的な取り組みを続けており、特筆すべき管理状況であった。 ・施設管理では、こまめな修繕により施設の長寿命化を図り、故障による施設停止を未然に防止したほか、園芸関係の資料を集めた閲覧室をオープンし、市立図書館との連携及び、学芸員の配置による専門性の高い情報提供を行い、環境教育や生涯学習の促進に貢献するなど、積極的に取り組んでいた。 ・サービス向上では、広報活動の広域化、ホームページ刷新のほか、マスコミの積極的な誘致・情報提供等、新たな利用者誘致を目指した積極的な取組がなされており、特筆すべき管理状況であった。 ・清掃、利用者対応、安全管理については、事業計画に沿って適切に管理運営が行われていた。		3. 事業効果 A ・アンケート結果によると、植物管理の満足度は「非常に高い」、清潔さ、接客、安全・安心、全体の満足度は「高い」という評価となっていた。 ・植物管理では、「雑草等が目立たずいつも新鮮。四季折々のインパクトがある」、「フランス式庭園とてもきれい」、「四季の自然が感じられる」などの意見があった。 ・自由意見では、「小さい子供から大人まで利用できて良い」、「今後もこのままであってほしい」との意見があった。 平成29年度の公園来園者数は、5年目の目標値818千人に対して769千人であった。	
2. 業務執行体制 S ・事業計画に沿った職員配置、本部との連携、人材育成など適切な運営体制が確保されていた。 ・個人情報保護、関係法令等が適正に遵守されていた。 ・地域との連携では、地域の医療施設から園芸療法の一環として花壇づくりの手伝いを受けたほか、大学と連携して学芸員実習や中学生の職場体験の受入れるなど、様々な団体の活動を支援しており、特筆すべき取組状況であった。		4. 個別項目 S ・「グリーンハウスのリニューアル」、「都市緑化植物園機能の充実を図るための取組み」については、事業計画に沿って管理運営が行われていた。 ・「相模原公園のいきもの調査結果の活用」については、蝶、鳥に続き、水生生物の生息等の調査を行うなど、公園資源を活用する積極的な取組が行われていた。	
		5. 提案の履行 A 指定期間の3年目として、未病改善の取組みの提案について、ウォーキングイベントが開催されるなど提案に沿った取組が行われていた。	

■特記事項

管理状況が良く今後も継続が望まれる点 ・樹木の適正管理方針策定のため委員会を組織して、樹林地管理計画に基づく樹林地の多様性を保全する取組みや、見どころの多い花壇づくりは、植物を通して公園の魅力形成を図る取組みであり、今後も継続が望まれる。 ・植物や園芸関係の資料(グリーンアーカイブス)収集、資料閲覧室における図書館との連携、学芸員による専門性の高い情報提供などは、環境教育や生涯学習推進の観点から、今後も継続が望まれる。 ・ホームページの刷新や広域的な広報活動、マスコミ等への情報提供などにより、公園の魅力をアピールし、利用促進を図る取組みは、今後も継続が望まれる。	今後取り組むべき点や改善が望まれる点 ・専門的で豊富な植物園芸関係の資料が当公園にあることをより多くの方に知ってもらい、有効に活用してもらえ取組みが期待される。
--	--

<最終評価の基準>

「特に優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、特に優秀な実績・成果をおさめている。[Sが3つ以上、B、Cがない]
 「優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、優秀な実績・成果をおさめている。[B、Cがない]
 「良好」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に適合している。[Cがなく、「特に優良」「優良」以外]
 「一部良好でない」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、一部において適合していない。[Cが1つ以上ある]